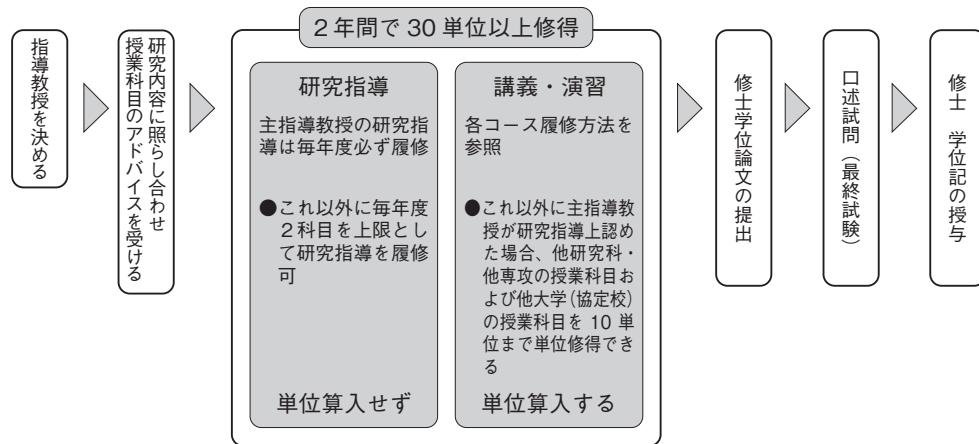


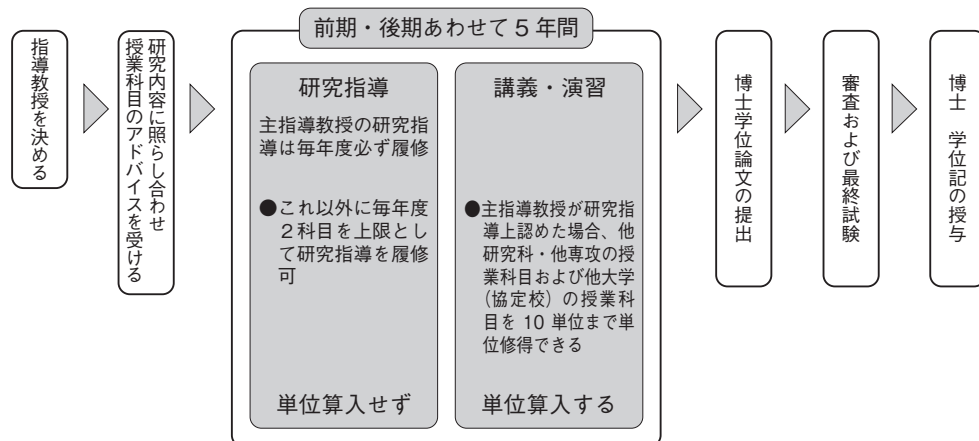
[経済学研究科]

経済学専攻

前期課程 履修の流れ



後期課程 履修の流れ



経済学専攻

博士前期課程〔経済学研究コース〕

(修了に必要な単位数)

授業科目・研究指導区分	経済学研究コース
基礎科目	14単位
専門科目	8単位以上
修了必要単位数	30単位以上 (以上の他、基礎科目、専門科目から単位を充足させること)

	授業科目・研究指導	講義・演習の別	単位	職名	担当教員	備考	
基礎科目	上級ミクロ経済学	講義	4	教授	佐々木 啓介	必修	
	上級マクロ経済学	講義	4	教授	斎藤 孝	必修	
	経済学方法論	演習	2	教授	吉田 明子	必修(前期開講)	
	総合演習Ⅰ	演習	2	教授	城川 俊一	1年生対象・必修	
	総合演習Ⅱ	演習	2	教授	城川 俊一	2年生対象・必修	
専門科目	〔理論・歴史〕	上級経済理論	講義	4	教授	佐々木 啓介	上級経済理論研究指導と共通
		経済学説	講義	4	教授	今東 博文	現代政治経済学研究指導と共通
		統計・計量経済学	講義	4			本年度休講(隔年開講)
		統計・計量経済学Ⅱ	講義	4	教授	門間 麻紀	実証経済分析研究指導と共通(隔年開講)
		日本経済史	講義	4			本年度休講
		西欧経済史	講義	4			本年度休講
		経済発展論	講義	4	教授	藤井 信幸	経済発展論研究指導と共通
	〔政策〕	経済政策	講義	4	教授	益田 安良	経済政策論研究指導と共通
		国際経済	講義	4	教授(兼担)	中北 徹	貿易論研究指導と共通
		公共経済	講義	4			本年度休講
		地域経済	講義	4			本年度休講
		中小企業論	講義	4	教授	安田 武彦	中小企業論研究指導等と共通
		産業組織	講義	4	教授	吉田 明子	産業組織論研究指導と共通
		社会保障	講義	4			本年度休講
	〔財政〕	労働経済	講義	4	教授	今村 肇	労働経済論研究指導と共通
		財政学Ⅰ	講義	4	教授(兼担)	八巻 節夫	財政学研究指導Ⅰと共通
		財政学Ⅱ	講義	4	教授	大野 裕之	財政学研究指導Ⅱと共通
		財政学Ⅲ	講義	4			本年度休講
		財政学Ⅳ	講義	4			本年度休講
	〔金融〕	財政学Ⅴ	講義	4			本年度休講
		金融論	講義	4	教授	棟近 みどり	金融論研究指導と共通(隔年開講)
	〔社会・情報〕	金融論Ⅱ	講義	4			本年度休講(隔年開講)
		社会経済システム	講義	4	教授	浅野 清	社会経済思想論研究指導と共通
		情報経済	講義	4	教授	城川 俊一	情報経済システム論研究指導と共通
		環境経済	講義	4	教授	小川 芳樹	環境経済論研究指導と共通
		アジア経済	講義	4	教授	郝 仁平	アジア経済論研究指導等と共通
		特講Ⅰ	講義	4			本年度休講

授業科目・研究指導		講義・演習の別	単位	職名	担当教員	備考	
研究指導	〔理論・歴史〕	上級経済理論研究指導		教授	佐々木 啓介		
		現代政治経済学研究指導		教授	今東 博文		
		経済学説史研究指導				本年度休講	
		データ解析研究指導				本年度休講	
		実証経済分析研究指導		教授	門間 麻紀		
		日本経済史研究指導				本年度休講	
		西欧経済史研究指導				本年度休講	
		経済発展論研究指導		教授	藤井 信幸		
	〔政策〕	経済政策論研究指導		教授	益田 安良		
		中小企業論研究指導		教授	安田 武彦		
		貿易論研究指導		教授(兼任)	中北 徹	平成22年度以前入学生のみ履修可	
		国際経済論研究指導				本年度休講	
		公共政策研究指導				本年度休講	
		公共システム論研究指導				本年度休講	
		アジア経済論研究指導		教授	郝 仁平		
		農業経済論研究指導				本年度休講	
		日本経済論研究指導				本年度休講	
		産業組織論研究指導		教授	吉田 明子		
		社会保障研究指導				本年度休講	
		労働経済論研究指導		教授	今村 肇		
		〔財政・金融論〕	財政学研究指導Ⅰ		教授(兼任)	八巻 節夫	平成21年度以前入学生のみ履修可
			財政学研究指導Ⅱ		教授	大野 裕之	
			財政学研究指導Ⅲ				本年度休講
	財政学研究指導Ⅳ					本年度休講	
	財政学研究指導Ⅴ					本年度休講	
	金融論研究指導			教授	棟近 みどり		
	金融論研究指導Ⅱ					本年度休講	
	国際金融論研究指導					本年度休講	
	〔社会・情報〕	社会経済システム論総論研究指導				本年度休講	
		社会経済思想論研究指導		教授	浅野 清		
		情報経済システム論研究指導		教授	城川 俊一		
		環境経済論研究指導		教授	小川 芳樹		

履修方法

- 履修する授業科目は、入学時ガイダンス、総合演習Ⅰ・Ⅱおよび指導教授の指示を受けて決定すること。
- 「研究指導」は、年度毎に3科目（主指導教授1名・副指導教授2名）を上限として、履修・単位修得（0単位）することができる。
- 主指導教授の「研究指導」は、毎年度必ず履修すること。
- 副指導教授の「研究指導」は、在学中1回以上履修すること。
- 「演習」または「講義」の同一名称の科目は、在学中1回のみ履修・単位修得（4単位）することができる。ただし、主指導教授の「研究指導」と共通で開講されている「講義」については、2回（8単位）まで履修・単位修得することができる。
- 経済学専攻内他コースの授業科目も履修することができる。この場合、事前に科目担当者の許可を得ること。この単位は、修了要件の単位に充当する。
- 本表に掲げたものの他、指導教授が教育研究上必要と認めるときは、本学の他研究科・専攻の授業科目および他大学（協定校）の授業科目を10単位まで単位修得することができる（同一名称の科目は1回のみ単位修得できる）。修得した単位は修了要件の単位に充当する。

博士前期課程〔環境学研究コース〕

(修了に必要な単位数)

授業科目・研究指導区分	経済学研究コース
基礎科目	8単位以上
専門科目	8単位以上
修了必要単位数	30単位以上 (以上の他、基礎科目、専門科目から単位を充足させること)

授業科目・研究指導		講義・演習の別	単位	職名	担当教員	備考	
基礎科目	環境と社会経済	講義	2	非常勤講師	信澤由之	必修(前期開講)	
	上級ミクロ経済学	講義	4	教授	佐々木啓介		
	総合演習Ⅰ	演習	2	教授	山谷修作	1年生対象・必修	
	総合演習Ⅱ	演習	2	教授	山谷修作		
専門科目	〔理論・歴史〕	環境経済学	講義	4	教授	小川芳樹	環境経済学研究指導と共通
		環境学	講義	2	教授	鈴木孝弘	必修(隔週開講)/環境学研究指導と共通
		環境政策	講義	4	教授	山谷修作	環境政策研究指導と共通
		会計と環境	講義	4	客員教授	柳裕治	会計と環境研究指導と共通
		環境税特論	講義	2	教授(兼担)	八巻節夫	(前期開講)
		公害対策論	講義	4	客員教授	神山宣彦	公害対策論研究指導と共通
		環境学特論	講義	2			本年度休講
	〔財政〕	統計・計量経済学	講義	4	教授	門間麻紀	
		経済政策	講義	4	教授	益田安良	
		財政学Ⅰ	講義	4	教授(兼担)	八巻節夫	
		財政学Ⅱ	講義	4	教授	大野裕之	
		財政学Ⅲ	講義	4			本年度休講
		財政学Ⅳ	講義	4			本年度休講
研究指導	環境学研究指導			教授	鈴木孝弘		
	環境経済学研究指導			教授	小川芳樹		
	環境政策研究指導			教授	山谷修作		
	会計と環境研究指導			客員教授	柳裕治		
	公害対策論研究指導			客員教授	神山宣彦		

経済学

履修方法

- 履修する授業科目は、入学時ガイダンス、総合演習Ⅰ・Ⅱおよび指導教授の指示を受けて決定すること。
- 「研究指導」は、年度毎に3科目(主指導教授1名・副指導教授2名)を上限として、履修・単位修得(0単位)することができる。
- 主指導教授の「研究指導」は、毎年度必ず履修すること。
- 副指導教授の「研究指導」は、在学中1回以上履修すること。
- 「演習」または「講義」の同一名称の科目は、在学中1回のみ履修・単位修得することができる。ただし、主指導教授の「研究指導」と共通で開講されている「講義」については、2回(8単位)まで履修・単位修得することができる。
- 経済学専攻内他コースの授業科目も履修することができる。この場合、事前に科目担当者の許可を得ること。この単位は、修了要件の単位に充当する。
- 本表に掲げたものの他、指導教授が教育研究上必要と認めるときは、本学の他研究科・専攻の授業科目および他大学(協定校)の授業科目を10単位まで単位修得することができる(同一名称の科目は1回のみ単位修得できる)。修得した単位は修了要件の単位に充当する。

博士後期課程

授業科目・研究指導	講義・演習の別	単位	職名	担当教員	備考
理論経済学研究指導①					本年度休講
理論経済学研究指導②			教授	佐々木 啓介	
現代政治経済学研究指導					本年度休講
日本経済史研究指導					本年度休講
経済学説史研究指導					本年度休講
統計・計量経済学研究指導			教授	渡辺 美智子	
財政学研究指導Ⅰ①			教授	八巻 節夫	
財政学研究指導Ⅰ②					本年度休講
財政学研究指導Ⅰ③			教授	大野 裕之	
財政学研究指導Ⅱ					本年度休講
経済政策論研究指導					本年度休講
金融論研究指導					本年度休講
農業経済論研究指導					本年度休講
中小企業論研究指導					本年度休講
日本経済論研究指導			教授	益田 安良	
貿易論研究指導			教授	中北 徹	
地方財政論研究指導					本年度休講
西欧経済史研究指導					本年度休講
社会経済システム論総論研究指導					本年度休講
社会経済思想論研究指導			教授	浅野 清	
情報経済システム論研究指導①			教授	城川 俊一	
情報経済システム論研究指導②			教授	山田 肇	
公共システム論研究指導			教授	松原 聡	
公共政策研究指導①					本年度休講
公共政策研究指導②					本年度休講
環境学研究指導			教授	鈴木 孝弘	
環境経済論研究指導					本年度休講
環境政策研究指導			教授	山谷 修作	
労働経済論研究指導			教授	今村 肇	

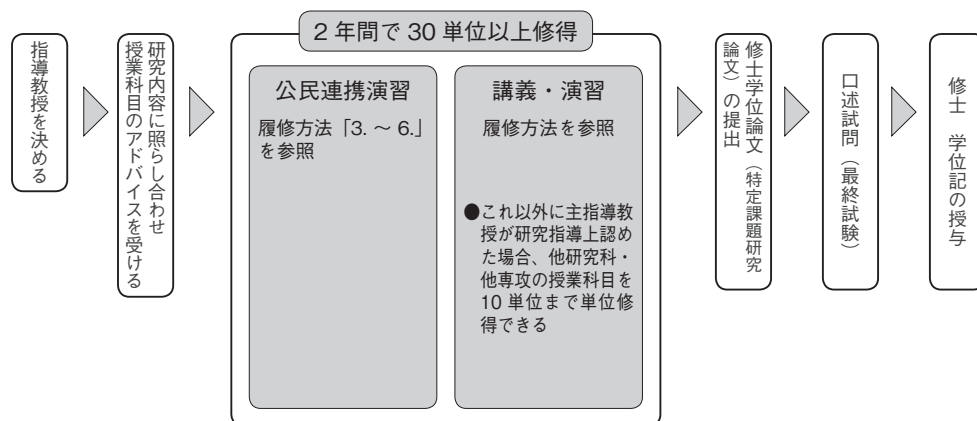
経済学

履修方法

- 履修する授業科目は、指導教授の指示を受けて決定すること。
- 「研究指導」は、年度毎に3科目（主指導教授1名・副指導教授2名）を上限として、履修することができる。
- 主指導教授の「研究指導」は、毎年度必ず履修すること。
- 本表に掲げたものの他、指導教授が教育研究上必要と認めるときは、本学の他研究科・専攻の授業科目および他大学（協定校）の授業科目を10単位まで単位修得することができる（同一名称の科目は1回のみ単位修得できる）。

公民連携専攻

修士課程 履修の流れ



公 民 連 携 専 攻

修士課程

(修了に必要な単位数)

必修科目	4単位
選択必修科目	4単位以上
修了必要単位数	30単位以上

	カテゴリー	授業科目・研究指導	講義・演習の別	単位		職 名	担当教員	備 考
				春	秋			
必修科目	PPP 制度手法	P P P 総論 I	講義	2		教授	根本 祐二	1～2セメスタ対象・必修
		P P P 総論 II	講義		2	教授	根本 祐二	1～2セメスタ対象・必修
選択必修科目	演 習	公民連携演習 I ①	演習	2	2	教授	中北 徹	} 1セメスタ対象
		公民連携演習 I ②	演習	2	2	教授	山田 肇	
		公民連携演習 I ③	演習	2	2	准教授	宮崎 智視	
		公民連携演習 I ④	演習	2	2	教授	松原 聡	
		公民連携演習 I ⑤	演習	2	2	教授	八巻 節夫	
		公民連携演習 I ⑥	演習	2	2	教授	根本 祐二	
		公民連携演習 I ⑦	演習	2	2	客員教授	関 幸子	
		公民連携演習 I ⑧	演習	2	2	特任教授	サム 田 測	
		公民連携演習 I ⑨	演習	2	2	客員教授	金谷 隆正	
		公民連携演習 I ⑩	演習	2	2	客員教授	清水 義次	
		公民連携演習 I ⑪	演習	2	2	教授	根本 祐二	
		公民連携演習 II ①	演習	2	2	教授	中北 徹	} 2セメスタ対象
		公民連携演習 II ②	演習	2	2	教授	山田 肇	
		公民連携演習 II ③	演習	2	2	准教授	宮崎 智視	
		公民連携演習 II ④	演習	2	2	教授	松原 聡	
		公民連携演習 II ⑤	演習	2	2	教授	八巻 節夫	
		公民連携演習 II ⑥	演習	2	2	教授	根本 祐二	
		公民連携演習 II ⑦	演習	2	2	客員教授	関 幸子	
		公民連携演習 II ⑧	演習	2	2	特任教授	サム 田 測	
		公民連携演習 II ⑨	演習	2	2	客員教授	金谷 隆正	
		公民連携演習 II ⑩	演習	2	2	客員教授	清水 義次	
		公民連携演習 II ⑪	演習	2	2	教授	根本 祐二	
		公民連携演習 III ①	演習	2	2	教授	中北 徹	} 3セメスタ対象
		公民連携演習 III ②	演習	2	2	教授	山田 肇	
		公民連携演習 III ③	演習	2	2	准教授	宮崎 智視	
		公民連携演習 III ④	演習	2	2	教授	松原 聡	
		公民連携演習 III ⑤	演習	2	2	教授	八巻 節夫	
		公民連携演習 III ⑥	演習	2	2	教授	根本 祐二	
		公民連携演習 III ⑦	演習	2	2	客員教授	関 幸子	
		公民連携演習 III ⑧	演習	2	2	特任教授	サム 田 測	
		公民連携演習 III ⑨	演習	2	2	客員教授	金谷 隆正	
		公民連携演習 III ⑩	演習	2	2	客員教授	清水 義次	
		公民連携演習 III ⑪	演習	2	2	教授	根本 祐二	
		公民連携演習 IV ①	演習	2	2	教授	中北 徹	} 4セメスタ対象
		公民連携演習 IV ②	演習	2	2	教授	山田 肇	
		公民連携演習 IV ③	演習	2	2	准教授	宮崎 智視	
		公民連携演習 IV ④	演習	2	2	教授	松原 聡	
		公民連携演習 IV ⑤	演習	2	2	教授	八巻 節夫	
		公民連携演習 IV ⑥	演習	2	2	教授	根本 祐二	
		公民連携演習 IV ⑦	演習	2	2	客員教授	関 幸子	
		公民連携演習 IV ⑧	演習	2	2	特任教授	サム 田 測	
公民連携演習 IV ⑨	演習	2	2	客員教授	金谷 隆正			
公民連携演習 IV ⑩	演習	2	2	客員教授	清水 義次			
公民連携演習 IV ⑪	演習	2	2	教授	根本 祐二	遠隔専門		

公 民 連 携

カテゴリー	授業科目・研究指導	講義・演習の別	単位		職名	担当教員	備考
			春	秋			
経済理論	経済学基礎	講義	2		非常勤講師	齋藤香里	
	公共経済学	講義					本年度休講
	政策評価論	講義	2		教授	松原聡	
金融	PPP経済理論	講義		2	教授	加賀見一彰	
	金融論基礎	講義	2		教授	中北徹	
	金融システム論	講義					本年度休講
	地域金融論	講義					本年度休講
財政	PPPファイナンス論	講義	2		客員教授	金谷隆正	
	財政学基礎	講義		2	教授	八巻節夫	
	経済政策論	講義					本年度休講
経営	財政システム論	講義	2		准教授	宮崎智視	
	地方行財政論	講義	2		客員教授	南学	
	財務分析論	講義		2	客員教授	佐藤真良	
	財務計画論	講義	2		客員教授	林原行雄	
	PPPビジネス論	講義		2	客員教授	林原行雄	
	PPP特殊講義Ⅰ	講義	2		客員教授	渡辺誠一	
	技術経営論	講義	2		教授	山田肇	
	知的財産論	講義					本年度休講
	PPP特殊講義Ⅱ	講義		2	客員教授	美原融	
PPP制度手法	ビジネス英語	講義		2	教授	テイモシ,ニューフィールド	
	PPP English	講義					本年度休講
	PPP総論上級	講義	2		教授	根本祐二	3セメスタ以上対象
公共プロジェクト	PPPプランニング論	講義		2	客員教授	金谷隆正	
	PPP制度手法論	講義	2		客員教授	美原融	
	地域リーダー論	講義		2	客員教授	関幸子	
	環境経済学	講義		2	教授(兼担)	小川芳樹	
	エネルギー経済論	講義	2		教授(兼担)	小川芳樹	
	PPP特殊講義Ⅲ	講義					本年度休講
民間プロジェクト	公共プロジェクト論	講義		2		担当者未定	
	PPP特殊講義Ⅳ	講義					本年度休講
	まちづくりビジネス論	講義		2	客員教授	清水義次	
	民間プロジェクト論	講義	2		客員教授	清水義次	
	海外PPP論Ⅰ	講義	2		特任教授	サム田渕	
事例研究	海外PPP論Ⅱ	講義		2	特任教授	サム田渕	
	PPPケーススタディ	講義	2		教授	根本祐二	
	PPPケーススタディ上級	講義		2	教授	根本祐二	
	海外PPP論Ⅲ	講義	2		特任教授	サム田渕	
	海外PPP論Ⅳ	講義		2	特任教授	サム田渕	
	PPPプロジェクト演習①	講義	2		特任教授	サム田渕	
	PPPプロジェクト演習②	講義		2	特任教授	サム田渕	
PPPデザイン論	講義		2	非常勤講師	片桐徹也		

選択科目

公 民
連 携

履修方法

- 履修する授業科目は入学時ガイダンス、主指導教授の指示を受けて決定すること。
- 修了に必要な単位数は、以下の条件を満たし、合計30単位以上履修・単位修得すること。
なお、授業科目は、演習科目と講義科目に分類されている。
- 「30単位以上」の内訳については次のとおり履修・単位修得すること。
 - 必修科目4単位（「PPP 総論Ⅰ」2単位、「PPP 総論Ⅱ」2単位）
単位修得済みの者は、翌年度以降に履修することはできない。
 - 選択必修科目から4単位以上（「公民連携演習Ⅰ～Ⅳ」各2単位）
 - 上記①②の条件および全体の科目分類の中から合計30単位以上※同一名称科目および同一名称科目の①②等のコース科目は、上記①の必修科目および下記4～9の条件以外、複数回履修・単位修得でき、修得した単位はすべて修了単位として認められる。ただし、授業科目の授業運営上、履修登録を制限することがある。
- 主指導教授は、「公民連携演習」担当教員から1名決定すること。主指導教授の演習または講義は、毎セメスタ必ず1科目以上履修すること。
- 副指導教授は、主指導教授の指示を受けて1名または2名決定すること。
副指導教授は、専任教員（教授・特任教授）または客員教授の、演習または講義担当者から決定すること。
副指導教授の演習または講義は、2単位以上履修することが望ましい。
- 主または副指導教授（1名）の「公民連携演習」は、Ⅰ→Ⅱ→Ⅲ→Ⅳの順に毎セメスタ必ず履修し、修了までに4単位以上必ず履修・単位修得すること。
（注）4及び6は、副指導教授の演習を履修しつつ、修士論文または特定課題研究論文他の指導を主指導教授から受けることを可能とする趣旨である。
5セメスタ以上在学する場合（Ⅰ～Ⅳを修得済み）は、再度Ⅳを履修し、指導を受けること。
- 主または副指導教授は、各人の希望もしくは教育的配慮にもとづいて、当該院生及び教員の合意のもとにセメスタごとに変更することがある。
- 修了要件として、修士学位論文または特定課題研究論文の作成および最終試験（口述）合格が必須である。
特定課題研究論文の様式・提出スケジュール等は修士学位論文に準ずる。書式等に関しては別途定めるものとする。
- 本表に掲げたものの他、指導教授が教育研究上必要と認めるときは、本学の他研究科・専攻の授業科目を10単位まで単位修得することができる（同一名称の科目は1回のみ単位修得できる）。修得した単位は修了要件の単位に充当する。
- 本専攻以外の学生が履修することはできない。